

## 両丹日日新聞

2020年(令和2年)10月8日 木曜日

### 夜久野高原のかるた完成

#### 朝来市の茶堂、石仏巡りなど紹介 金浦自治会

福知山市夜久野町と兵庫朝来市にまたがる広大な夜久野高原をテーマにした「高原・金浦今昔かるた」が完成した。制作したのは、朝来市山東町の金浦自治会(福本辰志自治会長)。同自治会は夜久野町の「やくの気綱乃会」(森山龍彦会長)と連携して、歴史の伝承や観光PR活動をしており、高原に点在する名所、旧跡などをかるた遊びで学べる内容に仕上げている。

今昔かるたは「金浦・夜久野高原観光、散策マップ」、ホームページ「Kanaura.com」に次ぐ、歴史伝承、観光PRの取り組みの第3弾。金浦自治会の元自治会長、波多野寛則さん(70)が中心になり、昨秋から、



かるたを手にする森山さん、福本さん、波多野さん(左から)

郷土史家や短歌愛好家らのアドバイスを受けて制作した。やくの気綱乃会も資料提供などで協力した。

全部で48句。札は幅広い年代の人が使えるようにと、百人一首のように、百人一首の内容は、信州の元武士・道貞心が、近くの宝山から水を引いたことを詠んだ「茶堂水碑の語る一道貞心の献身に 但丹のこの地うるおう」▽高原が府内唯一の火山、田倉山(宝山)の噴火で形成されたことを紹介する「田倉山は別名宝山という火山 噴火はざつと四十年前」。

また、高原一帯に江戸時代に設けられた全長約6キロの石仏巡りコースを詠んだ「石造りの地蔵に籠めし村人の祈りを巡る八十八ヶ所」として知られ、府境付近の金浦にある。両市の周辺自治会が、維持管理をする護持会を組織。昔から春季大祭を続け、近年では、高原の観光推進に結成した気綱乃会が祭りに



夜久野高原の名所、旧跡などを紹介するかるた

加わり、イベント開催ことも考えていきたい」と話していた。

購入希望者は福本自治会長、携帯電話090・8881・6589(日中)へ。1セツト500円(税込み)。郵送の場合は別途送料がいる。

両丹日日新聞は福知山市内を中心に購読者を持つ新聞社です。早くから夜久野高原に関心を持ち、今迄にも大師祭りや放光院(茶堂・八十八ヶ所石仏巡りや、高原の歴史文化・自然について取り上げてもらっています。

「かるた」で詠っている範囲は夜久野町にも及んでいます。今迄もそうだったように東町と夜久野町の連携は必要不可欠です。これからも末永い交流を願っています。

